株式会社ヴィック

会社説明

株式会社ヴィックは、BIMを中心とした情報技術によって、建設プロジェクト全体の最適化を実現するコンサルティング企業です。

私たちは、単なるBIMデータ作成にとどまらず、設計・施工・維持管理といった各フェーズを横断し、プロジェクトの意思決定を支える「情報基盤」を構築しています。
建設業界に依然として多く残る属人的な判断や分断されたプロセスに対し、データによる合理的な意思決定を実装することが私たちの役割です。

現在のヴィックの強みは大きく3つあります。
1つ目は、複雑形状や高度な設計に対応できるBIMデータ制作力
2つ目は、EIR・BEPに基づくグローバル水準のBIMマネジメント
3つ目は、発注者視点でプロジェクト全体を最適化するコンサルティング力

特に海外施主によるデータセンター案件では、国際基準に基づく厳格なBIM運用が求められますが、日本国内でこれに対応できる企業は限られています。
ヴィックは、EIRの理解からBEPの策定、プロジェクト推進までを一貫して支援できる数少ない存在です。

また、万博関連プロジェクトに代表される複雑形状建築においては、設計意図を損なうことなく施工・製作へとつなぐデータ構築に強みを持ち、デザインと生産の橋渡しを担う存在として多くの評価を得ています。

さらに現在は、グローバルBIM企業をルーツとするシンテグレート合同会社をグループに迎え強固な連携体制を構築しています。これにより、国際水準の知見と日本市場での実践力を融合し、より高度なサービス提供を実現しています。
国内大手企業やインフラ関連企業に対するBIM導入支援においても、多くの実績があります。

代表の渡辺は、慶應義塾大学大学院での教育活動や「日経アーキテクチャー 10大建築人」への選出など、建設DX領域を牽引するリーダーの一人として知られています。

ヴィックでの仕事は、「BIMを使うこと」自体が目的ではありません。
BIMを通じて、建設プロジェクトの在り方そのものを変えることがミッションです。

そのためヴィックでは、発注者（オーナー）、設計者、施工者、専門工事会社、メーカーといったあらゆるプレイヤーと関わりながら、プロジェクト全体を俯瞰し、最適化に直接関与することができます。

さらに、海外プロジェクトを経験してきたベテランスタッフのもとで、グローバル水準のBIMマネジメントやプロジェクト推進を実務として学べる点も大きな特徴です。
日本国内にいながら国際基準のBIM運用に関われる環境は限られています。

設計事務所や施工会社のインハウスBIMチームが「個別最適化」を担うのに対し、ヴィックは立場を横断した“全体最適”に直接関与できるポジションにあります。

BIMを単なるツールではなく、意思決定を変える手段として使いこなす経験。
そして、建設業界の構造そのものにアプローチする経験。

これらを実務として積むことができる環境は、日本において極めて限られています。
その中でも、ヴィックはその中心に位置しています。

業界を変える側に立ちたい方のご応募をお待ちしています。

会社概要

本社所在地
日本

事業内容
BIM導入支援のコンサルティング、BIMマネジメントの代行、BIMデータ作成

代表取締役
渡辺 健児

設立年
2008年（創業）、2015年8月（法人化）

資本金
1,000万円（2026年4月時点）

従業員数
11 - 50人

URL
https://vicc.jp/

オフィス情報

メインオフィス
〒1040041
東京都 中央区 新富2-1-7
冨士中央ビル9F